

『一生懸命』幻の新座市議会報告第8弾!



たかむらともや

2012年 11月 30日発行

③ 解散の日

衆議院が先ほど解散しました。野田さんは「議員定数の削減」で身を削る!と言ったようですが、国会議員の数を減らしたところで、国民の生活は何も変わりません。国政を担う能力がなくても、親の地盤があったり、金があったりする人は当選するので、身を削ることはありません。本当に身を削るというのなら、議員歳費を半分に削ればいい。そして、政党助成金を廃止することです。

消費税を上げたり、TPPに参加したり、原発の再稼働を進めていけば、間違いなく国民の生活は更に悪い方向へ行くでしょう。そういうことが本当の争点にならないといけません。

③ 第三極

どうも不思議でならないのが、「第三極」という言葉です。自民と民主の「二大政党制」もおかしな表現ですが、「第三極」というメディア用語もまた我々国民の意識を誘導していると思うのです。「自民か民主、どっちしかありませんよー」というのが「二大政党制」なら、「第三極」というのは、「自民、民主じゃなかったら日本維新の会ですよー」と言っている訳で、そこには共産党は勿論、社民党もその他の政党も存在しない訳です。

要するにアメリカに対して「NO!」と言える政党は二大政党にも第三極にもなれないという訳です。

そんな馬鹿な話はないでしょう。大多数の国民は嘗ての自民党にはうんざりし、今の民主党にはがっかりしているのです。

その次が、アメリカにとって都合のいい第三極であっていい訳がありません。アメリカの大統領がオバマになりました。オバマはアメリカの為に、日本を利用することを考えているはずですよ。

日本にもアメリカを利用して、日本の国を繁栄させようという、したたかな政治家が現れないといけません。自分の身を守ることに必死で、国民を顧みない政治家たちには退場してもらいましょう。



11月 11日の川掃除では埋もれていた大きなバイクを川の中から引き揚げました! 12月は9日(日)に行きます。9時~11時。栗原 1丁目公園集合です。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。

教育を語らせたら、止まらない男」。都立石神井高校を経て北海道大学へ。新座五中・六中・二中で21年間、学級通信「一生懸命」を毎日のように発行する。

五・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会 5回、全国大会 2回優勝。

2012年 2月、2218票で当選。文教環境常任委員長。新しい会派「市民と語る会」を結成。

2004年から議員日記は 8年 10ヶ月、毎日更新し、議会報告を毎月発行している。

「たかやん塾」塾長。小中高生と楽しみながら学び続けている。子ども達の内部被爆を防ぐ為に「給食ゼロベクレル宣言」を訴えている。

日々教育を考え「観光新座」ではなく「教育新座」「環境新座」を訴え「原発再稼働反対!」「PP反対!」「消費税増税反対!」「対米追随反対!」を訴えている。5年前から月に一度の黒目川の川掃除に燃えている。現在、糖尿病と格闘中。トレーニングにも燃えている。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

㊦ 修行の滝

駅立ちをするようになって、6年半の月日が経ちました。今は平均800枚なくなるひばりヶ丘も、最初の月は150枚でした。どこの駅でも100人単位でスルーされ、かなりヘコみました。なかなか笑顔になれず、声も出せず、情けない駅立ちだったと思います。あの時の僕は、自分を無視する人たちに集中していたのだと思います。

それが、やっているうちに気がついたのです。僕を待っていてくれる人がいる。「おはよう！」と笑顔で言ってくれる人がいる。「行ってきまーす！」と言ってくれる人がいる。握手をしてくれる親友がいて、ハグしてくれる教え子達がいて、飲み物やホカロンを差し入れてくれる人までいることに……。何百人にスルーされても、そういう人たちがいるのだから、僕は幸せです。そして、ちょっと元気がない人がいたら、密かに僕の”元気”を送るようにしています。

今月もひばりヶ丘では5時30分から、東久留米、保谷、新座、志木、清瀬では5時5分から僕の修行の滝は始まります。

㊦ 修行の滝2

人生って、なかなか思い通りには行かないものですよね。嫌な上司がいて、嫌な同僚がいて、嫌な客がいて、嫌な先生、嫌な生徒、嫌な女房(笑)や嫌な旦那(笑)もいるかも知れない。育て方を間違えた(失礼)子どもに悩んでいる方もいるでしょう。親の介護に疲れている方もいるでしょうね。

自分の周りの嫌な人や嫌なことに集中してしまうと、人生そのものが詰まらなくなったりします。でも、それもこれもみんな修行の滝だと思っていると、人生は結構楽しめるかも知れません。

僕の場合は選挙の滝や議会の滝に打たれながら、糖尿の滝で修行をしている訳です。勿論、ここには書けない(笑)滝もありますが……。

僕は昔から子ども達によく言っていました。「お前達の人生の主役はお前達なんだから、楽しめ、楽しめ！」「嫌な奴の為に、自分の人生を諦めるな！」「どうでもいい脇役に意識を集中するな！」意識を自分の周りの素敵な人達に集中して、これからの人生の滝を楽しみたいと思っています。

㊦ 脱原発ウォーク2

10月27日(土)に169人の市民が参加した第1回に続き、12月9日(日)に第2回の「脱原発ウォーク」が志木で行われます。僕たちは黒目川の掃除を午前中に行い、午後は志木に向かい歩く予定です。(三軒屋公園に13時集合、13時半集会開始、14時出発の予定)

子ども達に綺麗な黒目川を残したい・・・と始めた掃除も5年以上の月日が経ち、少しずつゴミが少なくなり、少しずつ掃除の範囲が広がってきています。「脱原発ウォーク」も子ども達に安全な日本を残すための第一歩だと思っています。



前は志木の三軒屋公園に150名以上の人が集まり、プラカードを掲げ、風船を上げて、歩きました。僕も会派の仲間や五中時代の教え子達と太鼓を叩きながら歩きました。

㊦ 米寿

先月、母が88歳になりました。ビルマ戦線で戦った父は生きていれば90歳ということになります。

あの戦争を肌で感じた人たちがどんどん減ってきています。戦争の恐怖や飢えを父さんや母さんから聞いて知っている僕らも、遠い昔の話に感じるようになってきました。

僕らは戦争に行かなかった世代です。戦後の経済復興は日本国憲法に守られて戦争に行かずに済んだからです。アメリカに一杯食わせたのです。出来たら僕らの子どもの世代もそして次の世代も、戦争に行きたくない。そう思います。

威勢のいいことを言う人たちやその子ども達は危険な最前線にはいかないものです。気をつけなければいけません。

